

平成22年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

1 調査の概要

○実施日 平成22年4月20日（火）

○調査対象及び方法

- ・小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒のうち、文部科学省が調査対象として抽出した学校において行う。

○調査内容

- ・教科に関する調査は、国語、算数・数学について、それぞれ主として「知識」に関する問題（問題A）と主として「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題（問題B）を出題。
- ・生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を実施。

2 結果に関する調査の結果

（平成22年度上段：公立学校の平均正答数 下段：平均正答率の95%信頼区間（%））

（平成21年度上段：公立学校の平均正答数 下段：平均正答率（%））

	国語 A				国語 B			
	平成21年度		平成22年度		平成21年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	12.6/18 69.9	12.7/18 70.6	12.5/15 83.2-83.5	12.6/15 83.3-84.8	5.1/10 50.5	5.1/10 51.4	7.8/10 77.7-78.0	7.9/10 77.9-79.9
中学校	25.4/33 77.0	25.8/33 78.2	26.3/35 75.0-75.2	26.5/35 75.1-76.2	8.2/11 74.5	8.4/11 76.1	6.5/10 65.1-65.5	6.5/10 64.3-65.7
	算数・数学 A				算数・数学 B			
	平成21年度		平成22年度		平成21年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	14.2/18 78.7	14.4/18 79.8	14.1/19 74.0-74.4	14.2/19 73.8-75.8	7.7/14 54.8	7.8/14 56.0	5.9/12 49.1-49.5	6.0/12 49.1-51.1
中学校	20.7/33 62.7	21.6/33 65.3	23.3/36 64.4-64.8	24.1/36 65.9-67.8	8.5/15 56.9	8.9/15 59.0	6.1/14 43.1-43.5	6.3/14 44.3-46.4

本県は、主として「知識」に関する問題（問題A）では、全ての調査において全国平均正答数を0.1～0.8上回っている。主として「活用」に関する問題（問題B）については、中学校国語で全国平均正答数と同じであるが、それ以外については全国平均正答数を0.1～0.2上回っている。

3 文部科学省による分析

○これまでの調査と同様、主として「活用」に関する問題（B問題）では、記述式問題を中心に正答率の低い問題があり、例えば、次のような課題が見られる。

【国語】

資料や情報に基づいて自分の考えや感想を明確に記述すること。

【算数・数学】

日常的な事象について、筋道を立てて考え、数学的に表現すること。

○一方、主として「知識」に関する問題（A問題）は、平均正答率はB問題より高いが、各設問を個別に見ると継続的な課題が見られるものがある。後の学習内容の理解に影響を及ぼすものであるため、A問題の課題についても留意が必要である。

【国語】

文の構成を理解し、伝えたい内容を適切に書いたり、推敲したりすること。

【算数・数学】

割合や比例など、2つの数量の関係を理解すること。

→思考力・判断力・表現力等といった、知識を「活用」する力と合わせ、基礎的・基本的な知識・技能もしっかりと定着させることが重要である。

（「平成22年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」文部科学省 平成22年7月より）